

株式会社をくだ屋技研

大阪府堺市

人材育成
ものづくり

独創技術がノウハウを生み出すをモットーに 物流機器製造で業界を牽引する企業

創業(1934年)以来、一貫して続けてきたポンプ技術を活かし、工場や物流センター等で使用される小型物流機器を製造販売している。なかでもハンドリフトについては、国産メーカーの先駆けとして国内トップシェアを確保し、90%以上の製品を自社ブランドで展開している。「独創(Original)技術がノウハウ(Know-how)を生み出す(Produce)」を意味する「O.P.K」を自社ブランド名とし、研究開発から製造まで一貫して行う最終完成品メーカーとして業界を牽引している。

所在地 大阪府堺市美原区丹上263
電話/FAX 072-362-2111/072-362-2115
URL <http://www.opk.co.jp/>
代表者 代表取締役社長 奥田 智

設立 1954年
資本金 9,650万円
従業員数 118名



自社ブランドとOEMの両輪による技術力・開発力の向上

長年蓄積してきたポンプ技術と金属加工技術を強みとしている。製品の大半を自社ブランド「O.P.K」の名称で展開しつつ、一部OEM製品も手掛けている。納入先の技術が高いほど、溶接一つにしても要求されるレベルも高く、異なる素材要求に対しても対応し続けることで、技術力が一層磨かれてきた。技術力の向上は同社への信頼感を高めるとともに自社の開発力にもつながっており、軽量化と操作性を追求した「キャッチパレットトラック」が2007年にグッドデザイン賞を受賞した。



キャッチパレットトラック

「運ぶ」現場をラクにしたいとの想いから1台からでもカスタマイズに対応

資本力を武器に低コストの大量生産品で競合する海外メーカーとは一線を画した特殊性が高い小ロット品の製品群で他社にはない優位性を築いている。同社が小型荷役運搬機器のトップランナーとして地位を築いてきた背景には、モノを運ぶ人の環境をよりストレスなく、スムーズにデザインしていきたいという想いを託した「キャリアデザイン」という考えが存在する。この想いを実現するため、お客様の深いニーズを引き出し、特殊環境で使用する機器を1台からでもカスタマイズする等、きめ細かい対応を実現している。



作業風景

多様な人材が生き生きと働ける環境作り

海外からのインターンシップ研修生受け入れ等グローバル人材との交流、ショールーム改装プロジェクトコアメンバーへの女性社員起用、65歳への定年延長等、ボーダーレス、ジェンダーレス、エイジフリーな職場環境の構築に取り組んでいる。社員の働き甲斐向上のため、制服を10色のなかから選べるカジュアルなものに刷新、本社屋内に「OKUDAYA BASE」という交流スペースも開設した。交流スペースは設計段階から主体的に取り組んだ社員の想いが込められており、社内打ち合せ等に活用されている。



OKUDAYA BASE